

梅雨時期の大掃除!?

ホームガス課 須田 達哉

じめじめと雨降りが多い梅雨時は、掃除もおあずけ、と思っている方はいませんか？ 実は、雨による湿気が多い梅雨時は、お掃除のベストシーズンです。理由は3つあります。

- ①適度な湿気が、カビの孢子などの飛散を抑える
- ②静電気が発生しないので、埃が取れやすい
- ③夏と秋が最盛期となるダニの発生の予防になる



大掃除シーズンである12月は、乾燥して静電気が発生しやすいことと、気温が低く油污れも固まりがちなために、掃除にはあまり向いていません。それに、何かと忙しい時期ですね。

梅雨時は雨降りが続くと、外出も控えがちになります。長雨の続く週末は、家族でお掃除をして過ごすというのも、梅雨時のよい過ごし方なのでは？

それでは、梅雨にぜひ掃除をしておきたい3カ所をご紹介します。

窓ガラスと網戸

雨でどうせ汚れるから、窓や網戸のお掃除は梅雨時にはしない！と思っている方。ぜひ、小雨の日などを選んで、窓拭きをしてみてください。湿度があるほうが、窓ガラスの汚れは断然落ちやすいです。

また、網戸の埃も、乾燥した晴天時は飛び散ってしまいがちですが、湿気のある曇天、もしくは小雨の日のほうが効率よく落とせます。

網戸は、埃が大量についている場合は、裏側に新聞紙を当てながら掃除機で埃を吸い取ります。その上で、市販の網戸用のお掃除シートを使えば簡単です。専用ハンドルがなくても、シートを台所用のスポンジに巻いて、表面をこするように拭くと、簡単に汚れを落とすことができます。試してみてくださいね。

浴室

浴室の天井や換気扇の付近には、カビの孢子が付着しています。この孢子は、掃除のために窓を開けたり換気扇を回すことで簡単に飛び散り、着床したところに新たなカビを生む原因になります。

このため、浴室の大掃除も、乾燥している時期より湿気が多い時期のほうが向いています。普段あまり手をかけない天井や窓枠、壁などは、フロアモップの持ち手を短くしたものに、ウェットタイプのお掃除シートや、使い捨ててもよいウェスを濡らしたものをセットして拭きます。

その上で、浴室のカビ取りなどもしておきましょう。最後はよく換気をし、カビ予防剤などをかけておくと安心です。

フローリング、カーペット掃除

部屋の中には、衣類やカーテンなどから出る繊維の埃や、カビやダニのフンなどの微細な埃、外から入ってくる砂埃などが充満しています。これらは人が歩くだけで舞い上がり、やがて家具の上や、部屋の隅にまでまんべんなく落ちて堆積します。

こうした埃は、乾燥した時期は静電気が発生しやすいため、化学繊維のカーペットやソファ、カーテンなどに付着して取れにくくなってしまいます。また、フローリングの表面も、掃除機やモップでこすることで静電気が発生して、逆に埃を集める結果になることも。

とはいえ、夏は気温が上がりすぎて、水で濡らしたぞうきんやモップ、ウェットシートを利用してお掃除はしばらくになります。水分がすぐ蒸発してしまうので、効率が悪いのです。

床掃除は湿気が多い梅雨時が向いています。家具を動かしての大掃除も、梅雨時なら埃が舞い散らないので、ダニやカビの孢子も舞い散りません。ぞうきんは水分が残るので、市販のウェットシートや、マイクロファイバークロスなどをよく絞ったもので拭くのをおすすめします。

夏から秋にかけては、家の中にダニのフンや死骸、カビの孢子が大量に発生する時期となります。夏の到来に向けて、梅雨時こそ大掃除。今やっておくことで、残りの季節を快適に過ごすことができるようになります。

私もついつい後回しにしてしまう掃除・・・この機会にしてみようかなと思います。

<https://allabout.co.jp/gm/gc/454908/>

工場見学の勧め

顧問
福島 秀明

私が小学生や中学生の頃、遠足の代わりに工場見学に行き、楽しかった記憶があります。今でも学校から工場見学に行くことがあるでしょうが、レジャーの一つとして工場見学を楽しむことができます。

事前予約が必要な所が多いですが、家族などの少人数でも申し込むことができます。一部有料の所もありましたが、ほとんどが無料で、お土産までもらえます。

平日限定の所が多いですが、工場によっては土曜日や日曜日でも見学できる所もあります。工場が休業日でも、映像で製造風景の説明を受けられました。工場の都合で機械が停止していて実際の製造工程が見られない場合もありますが、その代わり映像で説明を受けたところもありました。

また、原料や製造方法などを秘匿のためか、写真撮影が出来る所と出来ない所がはっきりと決められていました。

集合時間に工場に行き、全員が揃った所で会社や工場の説明を受けました。工場見学はガラス越しに見下ろす形がほとんどで、実際の製造現場に入ることは出来ません。見学できる所にはパネルやモニターが設置されていますが、写真やビデオ撮影は禁止です。

見学が終わった後は、食品工場ではその工場で製造している物の試食が出来ます。麒麟ビール神戸工場に行った時は、自家用車で行ったため私は飲むことが出来ませんでした。3種類のビールの飲み比べを楽しめる所もありました。ここは一人500円程度の有料でした。

工場見学の中ではゲームをしたり、試食があったり、お土産まで用意されています。中には売店があり、その会社の製品やグッズを買うことが出来ました。レストランもあり、食事が出来る所もありました。

味の素鈴鹿工場では、大人も子どもも白衣にヘルメットをかぶり、手の消毒やエアシャワーを浴びてから見学が始まりました。工場内には携帯電話やカバンなどの私物は一切持ち込めません。実際の製造現場に入るわけではありませんが、厳重に管理されていることを感じます。

最新の設備を使って製造している工場は、大きな工場にも関わらずほとんど人がいません。製造や運搬、検査などはほとんど自動化され、ロボットが作業しています。人間はごくわずかの人数で大きな工場を運営しているようです。

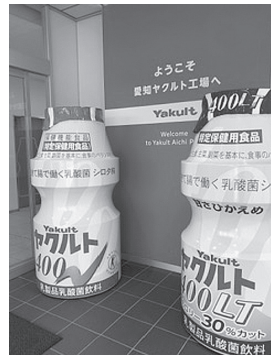
いつも食べている物や飲んでいる物の原料がどこから来て、どのように出来て行くのか、大きなタンクに製品が貯まっていき、それを容器に充填していく様子をガラス越しに見るだけですが、大人も子どもも興味津々です。

工場見学は会社のPRの場でもあります。将来のお客さんになるであろう子どもの来場も歓迎されています。所要時間は約2時間ですが、十分に楽しめます。

遊びに行く先に迷ったら、遊園地や動物園もいいですが、工場見学を候補の一つに入れてみてはいかがでしょうか。

●私が行った工場見学先

- ・麒麟ビバレッジ神戸工場・・・ビール製造
- ・麒麟ビバレッジ滋賀工場・・・午後の紅茶製造
- ・ヤクルト愛知工場・・・ヤクルト製造
- ・味の素ゼネラルフーズ東海工場・・・だしの素製造
- ・味の素ゼネラルフーズ鈴鹿工場・・・コーヒー製造
- ・アサヒ飲料明石工場・・・三ツ矢サイダー製造
- ・ヤマト運輸関西ゲートウェイ・・・宅配荷物仕分け
- ・コカコーラ京都工場・・・コカコーラ製造
- ・カゴメ上野工場（カゴメ記念館）・・・マヨネーズ製造
- ・ミツカン酢 MIZKAN MUSEUM・・・他



ヤクルト愛知工場



アサヒ飲料明石工場



ヤマト運輸関西ゲートウェイ



コカコーラ京都工場



カゴメ上野工場(カゴメ記念館)